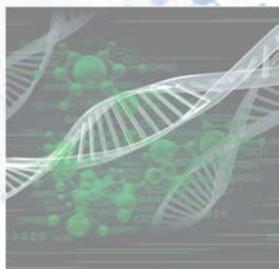


【ご参考資料】

2019年1月21日

野村アセットマネジメント株式会社



ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

■ バイオ医薬品企業を取り巻くM&Aの動き

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

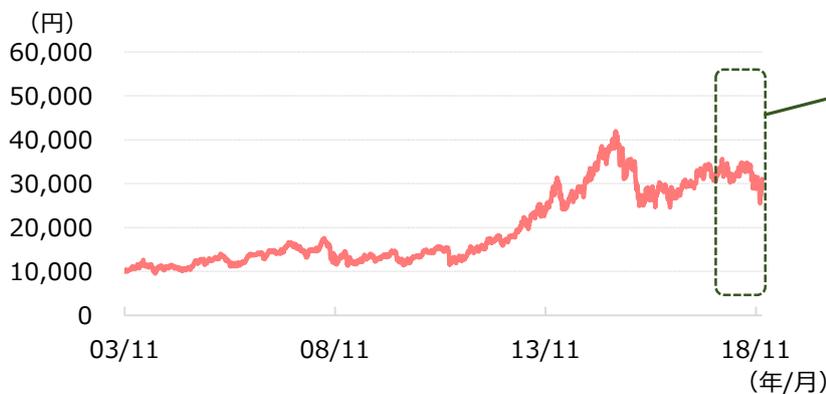
「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン（Aコース／Bコース）」（以下、ファンドといいます。）の基準価額の推移、足元のバイオ医薬品企業を取り巻くM&A（合併・買収）の動きについてご説明いたします。

ファンドの基準価額（分配金再投資）の推移 期間：2003年11月19日（設定日）～2019年1月11日、日次

2019年に入り、大手医薬品企業によるバイオ医薬品企業に対する買収の発表が相次ぐ

2018年以降、世界株式市場は、貿易摩擦に対する懸念の拡大や世界景気の先行き不透明感などを背景に不安定な動きが続いています。2019年に入り、大手医薬品企業によるバイオ医薬品企業の大規模な買収が発表されたことを受けて、足元ではバイオ医薬品関連株は上昇、ファンドの基準価額（分配金再投資）もAコース、Bコースともに上昇しました。

● Aコース



● Bコース



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

足元のバイオ医薬品企業のM&Aの動き

米BMSが米セルジーンを、米イーライ・リリーが米ロクソ・オンコロジーをそれぞれ買収

2019年1月3日、米大手医薬品企業 Bristol-Myers Squibb (BMS) が米バイオ医薬品企業セルジーンを約740億米ドル（約8兆円規模）で買収することを発表しました。両社が発表したプレスリリースによると、セルジーンの株主は、セルジーンの株式1株に対してBMSの株式1株と現金50米ドルを受け取るようになります。買収発表の前営業日（1月2日）の終値でみると、買収価格（「BMSの株価+現金50米ドル=102.43米ドル」）はセルジーンの株価66.64米ドルを約54%上回る水準となります。

さらに1月7日、米大手医薬品企業イーライ・リリーが米バイオ医薬品企業ロクソ・オンコロジーを約80億米ドル（約8,670億円）で買収することを発表しました。ロクソ・オンコロジーの株主は1株に対して235米ドルの現金を受け取ることになり、買収発表の前営業日（1月4日）の終値139.87米ドルを約68%上回る水準となります。

セルジーンを買収でBMSはがん領域、免疫および炎症領域を強化

BMSはセルジーンを買収によりがん領域を強化することができます。BMSは、京都大学・本庶佑特別教授のノーベル賞受賞で話題となった固形がん治療薬オプジーボなど有力ながん治療薬を既に有していますが、セルジーンは血液がん治療薬レブラミドやポマリスタが加わることで、がん領域において幅広い治療薬を揃えることになります。また、関節リウマチ治療薬オレンシア（BMS）や乾癬治療薬オテズラ（セルジーン）を有する免疫および炎症領域、経口抗凝固剤エリキュース（BMS）を有する心血管領域なども、強みを持った領域となります。

さらに、近く製品化されそうなパイプライン（新薬候補）については、将来の年間売上高が15億米ドル超となると予想されているものとして、6つ（免疫および炎症領域2つ、血液（がん）領域4つ（CAR-T（キメラ抗原受容体T細胞）療法2つを含む））を有しています。

ロクソ・オンコロジーを買収でイーライ・リリーはがん領域を強化

イーライ・リリーによるロクソ・オンコロジーの買収もがん領域の強化につながります。ロクソ・オンコロジーは、がんの発生部位ではなく遺伝子異常・NTRK遺伝子融合で括られるがん一揃えを治療する経口TRK阻害剤を有していますが、ほかにも同様のメカニズムで発生するがんについての複数のパイプラインの研究が進められています。

● セルジーンの株価推移

期間：2017年12月29日～2019年1月11日、日次



● ロクソ・オンコロジーの株価推移

期間：2017年12月29日～2019年1月11日、日次



(出所) ブルームバーグデータを基にピクテ投信投資顧問作成

記載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。また、医薬品等についても参考情報を提供することを目的としており、その医薬品等を推奨するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2018年以降のバイオ医薬品企業のM&Aの動き

2018年年初からバイオ医薬品企業をターゲットとしたM&Aが継続

2018年年初からバイオ医薬品企業をターゲットとした大手医薬品企業やバイオ大手医薬品企業によるM&Aが継続しています。

バイオ医薬品企業は、がん分野や遺伝子編集などの専門領域での技術研究に特化した、独自性の高い技術を有する企業が多く存在しています。一方で、一部の大手バイオ医薬品企業を除く多くのバイオ医薬品企業は、治験にかかる多額の費用をまかなうことが難しいとされています。

既存の主力薬が特許切れに直面している大手医薬品

企業や、特定の主力薬への依存が高い大手バイオ医薬品企業にとって、専門的な研究や技術で高い評価を得ていたり、有望なパイプラインを有するバイオ医薬品企業は、魅力的なM&Aのターゲットになるものと考えます。

さらに2018年10月以降、世界的に株式市場が調整する中で、バイオ医薬品企業の株価も下落し、一部の銘柄に割安感が出てきていることも今後のM&Aを後押しする要因となる可能性があり、引き続きバイオ医薬品企業におけるM&Aの動きが注目されます。

● 2018年以降のバイオ医薬品企業をターゲットとした主なM&A案件

発表日	ターゲット企業	買収企業	買収金額	買収プレミアム [※]
2018/1/22	ジュノ・セラピューティクス	セルジーン	約90億米ドル	約91%
2018/1/22	バイオベラティブ	サノフィ	約116億米ドル	約64%
2018/4/9	アベクシス	ノバルティス	約87億米ドル	約88%
2018/5/8	シャイアー	武田薬品工業	約460億英ポンド	約60%
2019/1/3	セルジーン	ブリストル・マイヤーズ スクイブ	約740億米ドル	約54%
2019/1/7	ロクソ・オンコロジー	イーライ・リリー	約80億米ドル	約68%

[※]買収プレミアムとは、買収価格と市場価格（時価総額）の差額をさします。ここでは、買収報道等の時点の株価を基準にしています。

（出所）各種報道資料などを基にピクテ投信投資顧問作成

記載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。また、医薬品等についても参考情報を提供することを目的としており、その医薬品等を推奨するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。
■ 銘柄選択の視点 ■
○ 「研究開発力と研究開発のリスク分散」：ユニークな製品／技術基盤を持ち、複数の研究開発プロジェクトを有する企業に注目します。
○ 「強固な経営陣」：優れた科学技術と経営手腕(マーケティング戦略、特許戦略など)を有する強力な経営陣を持つ企業に注目します。
○ 「健全な財務内容」：資金の調達状況など、企業の継続性を維持できる財務の健全性を有するか否かを確認します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、「ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド」、「ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ」および「ピクテ投信投資顧問株式会社」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年11月18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 2023年11月20日まで(2003年11月19日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則11月18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スwitchング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2019年1月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年2.052%(税抜年1.90%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有効証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等にに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは **野村証券**

商号：野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。